

のぎわっ子 家庭学習の手引き

東部小学校 4年

家庭学習の意義

- 1 学校で学習した内容をより確かにします。
- 2 家庭での学習習慣が身に付きます。
- 3 自ら学ぼうとする態度や学習に対する自信が付きます。
- 4 がまん強さ・根気・集中力が身に付きます。
- 5 家族が触れ合う機会となり、子どもの心の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

東部小学校では、子供たちの学力向上に取り組んでいます。学力の向上には、学習の定着をはかるだけでなく、自ら学ぼうとする姿勢を育てることが大切です。**自ら学ぼうとする態度は、子供たち自身が学習理解を振り返り、学習を深めるために必要なことを考えていく力です。**そのためには、保護者の皆様の協力が必要です。**漢字練習ドリル、スキル、プリントは、家の人が丸つけをし、正しく直しができたか見届けなどの御協力をお願いします。**

生涯にわたる「学び」へとつながります。

家庭学習 こんな内容・方法で

国語	音読	・文章の内容や構成を考えて音読しましょう。 ・家の人に聞いてもらいましょう。
	漢字	・正しい書き順でとめ、はね、はらいに気を付けて丁寧に書きましょう。 ・家の人に丸つけをしてもらい、間違いはその場ですぐに直す習慣を付けましょう。
	読書	・「のぎわっ子必読図書」を完読しましょう。 ・いろいろなジャンルの本を読みましょう。 ・家族で本を読んだり本について話し合ったりしましょう。 ☆木曜日を「のぎわっ子読書の日」と位置付け、読書の推進を図ります。
算数	計算	・計算の順序や方法が正しく身に付くよう、毎日少しずつ練習しましょう。 ・筆算では位をそろえて書き、手順を確かめながら正確に計算しましょう。

4年生はこんな時期

- ・好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
 - ・自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
 - ・皆で行動することを好み、口答えや反抗が見られるようになります。
 - ・**宿題をみるなど手助けして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。**
- ◇認めて、ほめて、
自信をつける4年生◇

学校の主な学習内容

- ・資料集や地図帳、国語辞典や漢字辞典などを使い、自分で調べる学習が多くなります。
- ・新しい漢字をたくさん習います。新出漢字は、202字です。
- ・算数科では、億や兆の大きな単位の数を学びます。
- ・四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ \times ・ \div ）の能力を定着させ、それを用いる能力を伸ばします。
- ・1・2・3年生での「繰り返し学習」の習慣づくりが大いに役立ちます。
- ・外国語活動を、週1時間学習します。

自主学習にもチャレンジ

- ・自分が興味をもったものや、ニュースなどについて調べてみましょう。
- ・国語辞典や漢字辞典の使い方・調べ方に慣れましょう。

がんばりを認め、
ほめて励ます言葉
掛けをしましょう。



学びの三がまえ

- <心がまえる> テレビなどを消して、集中して学習する。
(時間のめやす 50分)
- <物がまえる> 整頓された場所で学習する。
- <身がまえる> 良い姿勢で学習する。
- <物がまえる> 前日に、次の日の準備をする。
 - ① 予定を見て持ち物の準備をする。
 - ② 鉛筆を削る。
 - ③ 学校からの連絡やお便りを確実に手渡す。
 - ④ 学習に必要なでない物が入っていないか確認する。